

# 新型コロナウイルスワクチン接種について

接種費用無料  
(全額公費)

本書は、生後6か月から4歳までの方の新型コロナウイルスワクチン接種について、ワクチンに関する情報のほか、留寿都村における接種までの流れなどをまとめた書類です。接種前に必ず内容をご確認いただくようお願いいたします。

接種日程と予約方法は、4ページをご確認ください。

## 《目次》

- ・新型コロナウイルスワクチンの有効性と安全性 …… 1
- ・ワクチン接種を受ける際の注意など …… 3
- ・ **接種日程と予約方法** …… **4**
- ・ ワクチン接種を受ける当日について …… 5
- ・ ワクチン接種を受けた後について …… 6
- ・ ご相談など …… 7



## 【接種当日にお持ちいただくもの】

- 新型コロナウイルスワクチン予防接種済証（宛名の書かれている紙）
- 予診票（接種券が印刷されています。）
- 母子手帳
- 健康保険証



【お問合せ先】 留寿都村役場保健医療課 ☎0136-46-3131

（令和4年11月8日作成）

\* 本書は、厚生労働省が作成した「新型コロナウイルスワクチン接種についてのお知らせ」等を引用、改編し、作成したものであり、発出日現在の情報を基に作成したものです。

## 新型コロナウイルスワクチンの有効性と安全性

国内の新型コロナウイルス感染症の感染者の全体に占める子どもの割合が増えています。送付した冊子をご覧になった上で、ワクチン接種を受けるか、お子様と一緒にご検討ください。ワクチン接種は任意であり強制されるものではありません。

### ◎ワクチンの効果

#### 新型コロナウイルス（SARS-COV-2）による感染症の予防

- ・ mRNA（メッセンジャーRNA）ワクチンという種類のワクチンを接種します。ワクチンの接種により、体内に抗体をつくり、感染症の発症を予防します。
- ・ 海外の複数の国々で生後6か月から4歳までの乳幼児約1,100人に対して、ワクチンの効果や安全性を確かめる臨床試験が行われ、感染した場合の症状が出にくくなる効果（発症予防効果）は、3回目接種後7日以降の効果は73.2%と報告されています。

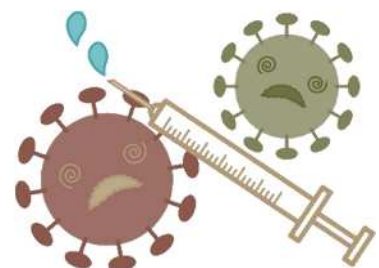
〔出典：審査報告書より〕

### ◎使用するワクチンと接種回数・接種間隔

ファイザー社製の乳幼児用（生後6か月から4歳まで用）ワクチンです。

初回接種は、以下の接種間隔で3回接種することとなります。

接種の区分		接種の間隔
初回接種	1回目	
	2回目	初回接種1回目から通常3週間
	3回目	初回接種2回目から8週間以上



## ◎新型コロナウイルスワクチンの安全性

臨床試験による1回目から3回目までの接種後の具体的な症状を見ると、接種回数ごとの症状にはあまり変わりがなく、ほとんどの症状が軽度又は中等度でした。現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められません。

### ◆接種後7日間に現れた症状

年齢	症状（発現割合：1回目接種後⇒2回目接種後⇒3回目接種後）	
生後6か月 ～1歳	機嫌が悪い (51.2%⇒47.4%⇒43.6%)	発熱 (7.2%⇒7.4%⇒6.8%)
	食欲減退 (22.2%⇒22.2%⇒20.2%)	接種部位腫れ (3.9%⇒3.9%⇒2.7%)
	眠そうな様子 (27.0%⇒23.8%⇒19.9%)	発赤 (10.6%⇒9.3%⇒7.1%)
	圧痛 (16.6%⇒15.0%⇒16.0%)	
2歳～4歳	疼痛 (30.8%⇒31.0%⇒26.7%)	接種部位腫れ (3.7%⇒5.7%⇒3.1%)
	疲労 (29.7%⇒25.7%⇒24.5%)	嘔吐 (3.0%⇒3.4%⇒1.6%)
	発赤 (8.8%⇒11.4%⇒10.9%)	悪寒 (2.3%⇒3.0%⇒3.3%)
	下痢 (7.7%⇒6.7%⇒5.1%)	筋肉痛 (2.4%⇒2.6%⇒2.0%)
	発熱 (5.2%⇒4.9%⇒5.1%)	関節痛 (0.8%⇒1.4%⇒1.3%)
	頭痛 (4.5%⇒4.6%⇒4.9%)	

〔出典：審査報告書より〕

○ワクチンに関する「よくあるご質問」について、厚生労働省ホームページに掲載されておりますので、あわせてご確認ください。

厚生労働省ホームページ「新型コロナワクチン Q&A」⇒⇒⇒



## 日本小児科学会より

ワクチンは、オミクロン株流行下においても効果が期待でき、安全性についても、臨床試験の結果に基づいて、大きな懸念はないとされています。また、アメリカなどで、日本と同じワクチンが承認されており、生後6か月から4歳までのお子様に対する接種が開始されています。効果と安全性が確認されているワクチンの接種を、学会としてもおすすめします。



## ワクチン接種を受ける際の注意など

### ◎お子様のワクチン接種には、保護者の方の同意と立会いが必要です。

ワクチン接種を受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、保護者の方の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。保護者の方の同意なく、接種が行われることはありません。

周りの方に接種を強制したり、接種していない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

### ◎他のワクチンとの接種間隔に注意願います。

インフルエンザ以外のワクチンは、新型コロナワクチンと同時に接種することはできず、片方のワクチンを受けてから2週間後に接種することができます。

### ◎ワクチンに疑問や不安があるときは、かかりつけ医などにご相談ください。

お子様に基礎疾患があるとき、ワクチンに疑問や不安があるときは、かかりつけ医などに相談してください。

以下に当てはまるお子様は、ワクチンを受けることができない場合や注意が必要な場合がありますので、かかりつけ医などにワクチン接種を受けて良いかご相談ください。

受けることができない方	<ul style="list-style-type: none"><li>○明らかな発熱がある方や、思い重傷疾患にかかっている方</li><li>○ワクチンの成分（※1）に対し、重度の過敏症を起こしたことがある方</li></ul>
注意が必要な方	<ul style="list-style-type: none"><li>○現在何らかの病気で治療中の方<ul style="list-style-type: none"><li>・心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患、免疫不全で治療中の方</li><li>・血が止まりにくい病気の方や、血をサラサラにする薬（※2）を飲んでいる方</li></ul></li><li>○以下のような症状が出たことがある方<ul style="list-style-type: none"><li>・薬や食品に対する重いアレルギー症状</li><li>・けいれん（ひきつけ）</li></ul></li></ul>

（※1）ポリエチレングリコールなどが成分として含まれます。ポリエチレングリコールは、大腸内視鏡検査時に下剤として使用する医薬品をはじめ、様々な医薬品に添加物として含まれており、化粧品にも含まれていることがあります。その他の成分や詳細については、厚生労働省ホームページをご参照ください。

（※2）このワクチンは、筋肉内に注射をします。そのため、抗凝固薬を内服中の方は、接種後の出血に注意が必要です。

## 接種日程と予約方法

### ◎接種会場と接種する医師

接種会場	留寿都診療所
接種する医師	留寿都診療所医師

### ◎接種日程

接種回数	接種日	受付時間
1回目	令和4年11月30日（水）	13：15
2回目	令和4年12月21日（水）	13：00
3回目	令和5年2月15日（水）	13：00

\*ワクチン接種の時間帯は、留寿都診療所の一般診療の受付は行っておりませんが、急患が入った場合は、接種をお待ちいただくことがありますので、予めご了承ください。

### ◎予約受付期間

予約受付開始日時：本案内到着時から

予約受付終了日時：令和4年11月24日（木）正午まで

### ◎予約方法

- ・電話にて役場保健医療課まで連絡願います。
- ・連絡先：0136-46-3131
- ・受付時間：月曜日から金曜日まで（休日を除く）  
午前8時45分から午後5時30分まで

## ワクチン接種を受ける当日について

### ◎ワクチン接種を受ける前の注意点

ワクチン接種前にご自宅で体温を測定し、明らかな発熱がある場合や体調が悪い場合などは、接種を控え、接種を受ける医療機関等にご連絡ください。

上腕又は太ももに注射します。  
(1歳未満は、太ももに注射します。)



### ◎ワクチン接種を受ける前の注意点

接種会場にて  
ワクチン接種を受けた後は、15分～30分程度、接種会場で健康観察を行います。



過去にアナフィラキシーを含む、重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、採血等で気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は、予診の際に必ずお申し出ください。

### ◆接種後すぐあらわれる可能性のある症状について

#### ○アナフィラキシー

- ・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こるアレルギー反応で、通常30分以内に起こります。
- ・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸症状が急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下（呼びかけに反応しない）を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。

#### ○血管迷走神経反射

- ・ワクチン接種に対する緊張や強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。
- ・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。

\* 接種後、数日以内に現れる可能性のある症状については、2ページをご確認ください。



## ワクチン接種を受けた後について

### ◎ワクチン接種を受けた当日について

- ・接種部位を強くこすらず、清潔を保ってください。
- ・お風呂に入るなど、いつもどおりの生活をするには問題ありませんが、激しい運動は控えてください。



### ◎強い症状がある場合について

接種後に、2ページに記載する症状（接種部位のひどい腫れや高熱、けいれんなどの症状、体調の変化など）が強くみられた場合などは、ただちに医療機関へご受診ください。

### ◎ワクチン接種後もマスクの着用などの感染予防対策の継続をお願いします。

ワクチン接種をすることで、新型コロナウイルス感染症に感染しても症状が出にくくなりますが、他の方への感染をどの程度予防できるかは分かっていません。また、ワクチン接種を受けた方も受けていない方も、ともに社会生活を営んでいく必要がありますので、手洗い、消毒、マスクの着用などの感染予防対策の継続をお願いします。



(※) 屋外では人と会話するとき（距離を確保できる場合を除く。）以外はマスクを外しましょう。

### ◎予防接種健康被害救済制度について

予防接種では、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナウイルスワクチン接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金の給付など）が受けられます（※）。申請に必要な手続などについては、役場保健医療課にご相談ください。

(※) その健康被害が、接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、市町村により給付が行われます。認定にあたっては、予防接種・感染症・医療・法律の専門家により構成される国の疾病・障害認定審査会により、因果関係を判断する審査が行われます。

## ご相談など

### ◎新型コロナウイルスワクチンに関する相談先

ワクチンに関する一般相談	厚生労働省新型コロナウイルスワクチンコールセンター 電話番号：0120-761-770（フリーダイヤル） 受付時間：午前9時～午後9時（平日、土日、祝日）
副反応等、有効性、安全性に関する情報提供	○北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター 電話番号：0120-306-154（フリーダイヤル） 受付時間：午前9時～午後5時30分 （平日、土日、祝日）
	○接種を受けた医療機関やかかりつけ医 【留寿都診療所】 電話番号：0136-46-3774 受付時間：午前8時45分～午後5時30分 （月曜日～金曜日（祝日を除く。））
日程等の接種に関する相談	留寿都村役場保健医療課 電話番号：0136-46-3131 受付時間：午前8時45分～午後5時30分 （月曜日～金曜日（祝日を除く。））

### ◎守ってほしい大切なこと

全国でワクチン接種を受けないことに対する誹謗中傷や差別などが確認されています。ワクチン接種は任意であり強制されるものではありません。また、体質や持病などの理由で接種できない方もいます。接種を強制したり、接種を受けていない方に対し差別的な扱いをすることのないようお願いします。



子どもに対する新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン 乳幼児 検索

ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

